

システム名	MSP
ソフト略名	C-COUP/NCSB2
適用V/L	V02L02
資料コード	A93115T5-0202-1

ソ フ ト ウ ェ ア 説 明 書

OSIV/MSP CAFIS COUPLER 基本部(NCS-B) V02

ま え が き

本ソフトウェア説明書は、

OSIV/MSP CAFIS COUPLER 基本部(NCS-B) V02L02

について説明したものです。ソフトウェアの使用に先立ち、本書を御一読下さい。

本ソフトウェアのインストールを実施するにあたり、その2週間前までに当社技術員から本ソフトウェアの最新保守情報をお取り寄せのうえ、インストールを実施頂くようお願い致します。

また御不明な点は当社の技術員にお問い合わせ下さい。

なお本書で用いる記号の意味は次のとおりです。

参照⇒ 本書中の参照箇所を示しています。

参照【】 “適用マニュアル”に記載されているマニュアルの参照箇所を示しています。

例： 参照【1】1.2 …… “適用マニュアル”第1項のマニュアルの
1.2を参照。

2001年 9月

富士通株式会社

- ・ CAFISは、弊社がNTTデータ通信株式会社から使用を承諾されている名称です。
- ・ 本ソフトウェアは、CAFISセンタとの接続の目的以外にはご使用できません。

目 次

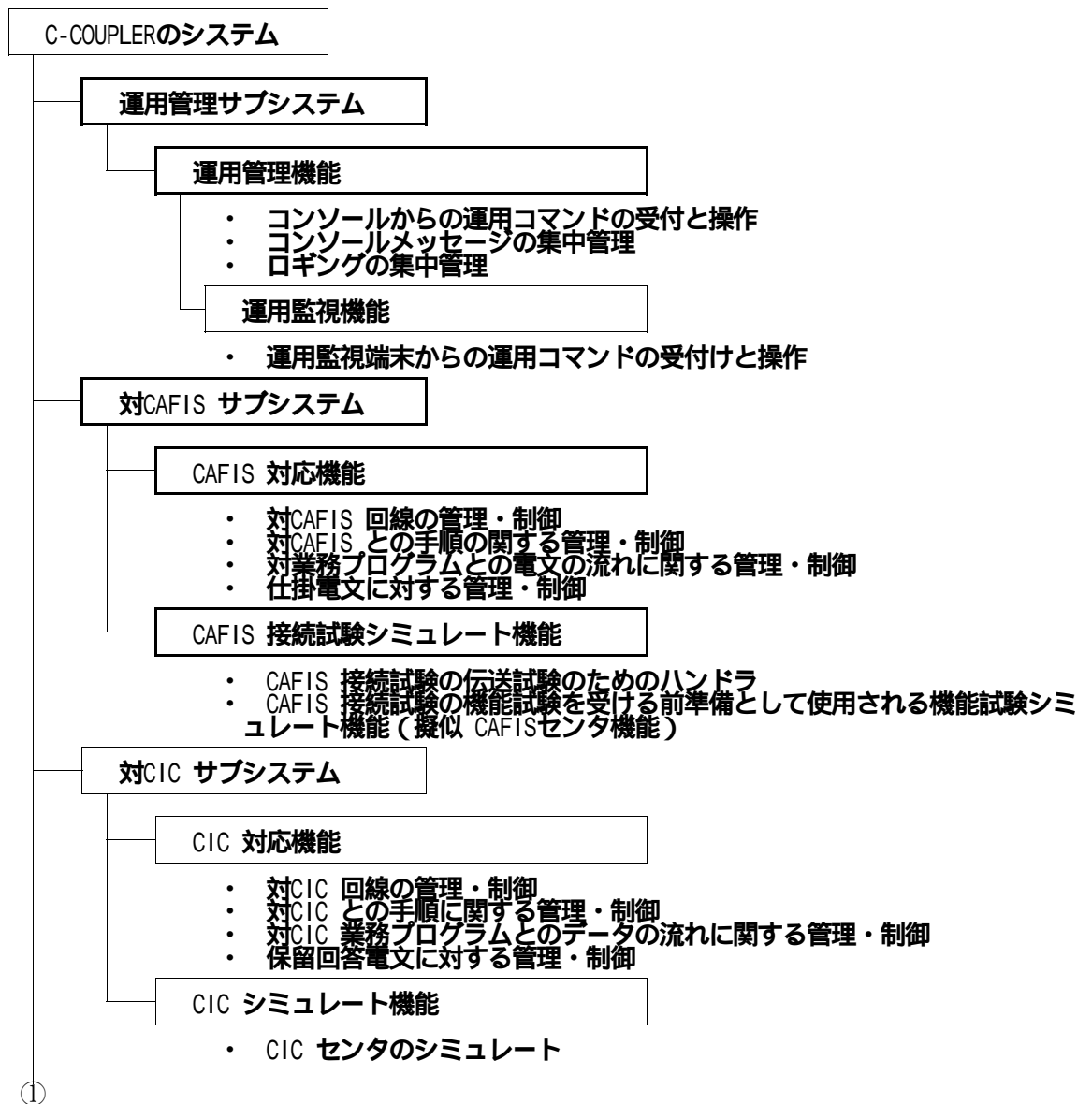
1 . 機能概要	5
2 . 構成プログラム	7
3 . 適用マニュアル	9
4 . 新機能	10
4 . 1 V01L01に対する機能追加・改良	10
4 . 2 V01L02に対する機能追加・改良	12
4 . 3 V02L01に対する機能追加・改良	13
5 . 移行上の注意	14
5 . 1 V01L01からの移行	14
5 . 2 V01L02からの移行	15
5 . 3 V01からのインストール方法	16
5 . 4 V02L01からのインストール方法	22
6 . 運用上の留意点	23
7 . ソフトウェア組合せ条件	24
8 . 提供媒体形式と内容	25
9 . DASD所要量	26
10 . インストレーションの手引	27
10 . 1 C-COUPLERライブラリの登録	28
10 . 2 ジョブ制御文の作成例	29

1. 機能概要

CAFIS COUPLER (Credit And Finance Information System COUPLER) 基本部 (NCS-B) は、NTTのCAFISセンタとのセンタ間接続を支援することを目的としたクレジットオンライン制御システムである。

CAFIS COUPLER (以降C-COUPLERと記述) 基本部は、一般的なオンライン制御、開閉局電文を含む制御電文の送受信を完全にサポートし、また一般業務電文の制御情報である通番等の管理も行いユーザが業務電文のみを意識してCAFISと接続することを可能としている。

C-COUPLERの機能体系を以下に示す。太線部分が基本部の提供している機能である。



①

ユティリティサブシステム

環境定義作成機能

- ・ C-COUPLER 環境定義ユティリティ

運用管理支援機能

- ・ ログイング退避・出力ユティリティ

CAFIS 対応運用支援機能

- ・ 仕掛電文印刷ユティリティ

CAFIS 接続試験シミュレータ支援機能

- ・ CAFIS 接続試験の機能試験用ユティリティ

CIC 対応運用支援機能

- ・ 保留回答データ解除・抽出ユティリティ

CIC シミュレータ支援機能

- ・ CIC 回答データ作成ユティリティ

2. 構成プログラム

このソフトウェアは、表2.1に示すプログラムから構成されている。

表2.1 構成プログラム

項番	分類	プログラム名	バージョン・レベル	備考
1	ACP	CUPACP	V02L02	
2	運用管理	CUPPK01	V02L02	運用指令処理
		CUPPK02	V02L02	運用管理
		CUPPK03	V02L02	メッセージ管理
		CUPPK04	V02L02	ロギング管理
		CUPPK05	V02L02	コマンド処理
		CUPPK06	V02L02	ジョブ監視
3	CAFIS制御	CUPPP02	V02L02	回線管理
		CUPPP03	V02L02	開閉局制御
		CUPPP04	V02L02	被仕向制御
		CUPPP05	V02L02	仕向制御
4	リカバリ	CUPPR02	V02L02	異常終了処理
		CUPPR03	V02L02	送信異常処理
		CUPPR04	V02L02	リカバリ初期処理
		CUPPR05	V02L02	被仕向精算処理
		CUPPR06	V02L02	仕向精算処理
		CUPPR07	V02L02	送信リトライ処理
5	ユティリティ	CUPUTY01	V02L02	環境定義体診断
		CUPUTY02	V02L02	ファイル創成
		CUPUTY03	V02L02	環境初期化
		CUPUTY04	V02L02	履歴情報印刷
		CUPUTY05	V02L02	履歴情報バックアップⅠ
		CUPUTY06	V02L02	履歴情報バックアップⅡ
		CUPUTY07	V02L02	仕掛電文印刷
		CUPUTY08	V02L02	仕向仕掛解除
		CUPUTY11	V02L02	経路状態表示
		CAFUTY01	V02L02	CAFIS 接続試験用データ作成

項番	分類	プログラム名	バージョン・レベル	備考
6	CAFIS接続試験 シミュレータ	CAFPT91	V02L02	コマンド処理
		CAFPT92	V02L02	擬似開閉局
		CAFPT93	V02L02	擬似仕向
		CAFPT94	V02L02	擬似被仕向
		CAFPT95	V02L02	結果印刷
		CAFPT96	V02L02	伝送制御テスト

3. 適用マニュアル

このソフトウェアに適用されるマニュアルは表3.1に示すとおりである。

表3.1

項番	マニュアル名称	マニュアルコード	備 考
1	CAFIS COUPLER解説書	70AL-1920-2	

4. 新機能

このソフトウェアでは、以前のバージョン・レベルに対して次のような機能追加及び改良が行われている。

4.1 V01L01に対する機能追加・改良

中核機能について、以下の機能追加・改良が行われた。

4.1.1 取消確認（再）指令に対する異常報告電文受信時の経路フリー機能

エラーコードがC12, 15, 33, 60の場合には取消確認再指令処理をリトライし、清算完了後経路を解放する。エラーコードが前記以外の場合には清算処理を中止し、経路を解放する。これにより、経路ビジーの発生頻度の減少が期待できる。（注1）

4.1.2 取消（再）指令に対する異常報告電文受信時の経路フリー機能

エラーコードがC12, 15, 33, 60の場合には業務からの再取消依頼を待ち、清算完了後経路を解放する。エラーコードが前記以外の場合には経路を解放する。業務からの再取消依頼時はエラーとする。これにより、経路ビジーの発生頻度の減少が期待できる。（注2）

4.1.3 経路状態表示機能

仕向けの経路ファイルの使用状態を表示、印刷することができる。（CUPUTY11）

4.1.4 会社サブセンタコード設定機能

会社コードにサブセンタコードを設定することができる。

4.1.5 仕向ルーティング処理レベルエラー時の処理の改善

CAFISセンタに対して送信異常が多発し、取消確認報告と取消確認再指令が競合した場合、取消確認再指令を廃棄し、取消確認報告を有効にする。これにより、従来は内部矛盾発生として取引処理中断（ABEND）するケースでも、処理を続行できるようになった。

4.1.6 被仕向ルーティング処理レベルエラー時の処理の改善

他社センタから複数の電文を同時に受信した場合、最新電文を有効とする。これにより、従来は内部矛盾発生として取引処理中断（ABEND）するケースでも、処理を続行できるようになった。

4.1.7 レスポンスの改善

- (a) C-COUPLER連絡メッセージの編集方法をテーブル処理から一括転送方式に変更することにより、レスポンスの改善を行った。
- (b) 被仕向タスク内のトランザクション数を少なくし、処理を変更することによりレスポンスの改善を行った。

4.1.8 トラブル対応

- (a) 運用管理ジョブのタスク起動順序を変更した。これにより、立ち上げ時の宛先異常の発生回数の減少が期待できる。
- (b) CAFIS制御ジョブのタスク起動順序を変更した。これにより、立ち上げ時の宛先異常の発生回数の減少が期待できる。
- (c) 送信NG処理プログラム(CUPPP08)のクリアタイムの経路番号設定部分を修正した。これにより、CAFIS送信異常時に0C7でABENDすることがなくなる。
- (d) WARMスタート時に取消確認処理中の場合には、取消確認再指令からリスタートする様に変更した。

(注1) エラーコードの詳細については、CAFIS接続条件書の「障害電文『取消(再)指令, 取消確認(再)指令』に対する異常時の応答処理」を参照。

(注2) 業務プログラムとのインターフェースの変更が必要になるため、当機能についてはC-COUPLERの環境定義体で選択可能である。

4.2 V01L02に対する機能追加・改良

中核機能について、以下の機能追加・改良が行われた。

4.2.1 CAFIS・G-CATのサポート機能

- a) 売上データギャザリング業務の機能試験ツールのサポートをする。
- b) G方式暗号方式の機能を標準サポートする。

4.2.2 業務での取消完了監視タイマ変更機能

C-COUPLERでは、仕向電文タイムアウト時に業務プログラムに対して異常報告を通知して、業務での取消完了後にCAFISへ取消確認指令処理を行っている。

業務での取消完了を判定するために一定時間（3秒）毎に仕向電文管理ファイルを検索している。通常時は問題ないが、DASD負荷が高くなる場合はこのタイマ値を変更してアクセス回数を減少させることができる。

(注) タイマ値を大きくするとCAFISへ取消確認指令処理が遅れるた可能性がある為、タイマの値は最大30秒までとする。

4.2.3 運用監視のPSAMサポート機能（運用監視オプション）

運用監視の画面サポートをMEDからPSAMに変更する。

4.2.4 新CICセット照会サポート機能（CICオプション）

単独照会のみサポートしていたが、クレジットファイル等の業務追加によりセット照会機能をサポートする。

セット照会は1照会に対して最大10回答までサポートし、使用する照会パターンはユーザが設定・変更することができる。

4.3 V02L01に対する機能追加・改良

中核機能について、以下の機能追加・改良が行われた。

4.3.1 起動時のメッセージ待ち合わせ機能

起動時のメッセージ出力を任意の時間待ち合わせする。待ち合わせ時間を指定することによりシステム起動時のメッセージ出力異常を回避することが可能となる。

4.3.2 トラブル対応

- (a) 複数回線使用時の回線決定方法の誤りを修正した。
- (b) 送信エラー時の送信リトライによるバッファ枯渇を回避する。状態通知コードが '56'、'59'、'5C'、'5D'、'5E' のときは送信を中断する。
- (c) 終了処理時メッセージ競合による終了不可状態を回避した。
- (d) 経路フリー機能使用時の電文チェック処理の誤りを改善した。
- (e) 被仕向報告電文送信時の回線障害時に内部矛盾が発生する不具合を修正した。
- (f) COLDスタート後の取消確認指令処理が取消確認再指令となる障害を修正した。
- (g) STIMERE マクロ命令を使用することにより、AIM のトランザクション実時間監視機能が有効な場合でも問題なく動作することが可能となる。

5. 移行上の注意

以前のバージョン・レベルからこのソフトウェアに移るときには、以下の事項に留意しなければならない。

5.1 V01L01からの移行

5.1.1 機能の選択

- a) 取消(再)指令に対する異常報告電文受信時の経路フリー機能については、使用するかどうかの選択が可能となっている。

C-COUPLER環境定義体中の、CAFIS回線定義内NETGENコマンドのKEIROパラメタで、NOを指定すれば現行のまま、YESを指定すれば新機能となる。

5.1.2 業務インターフェースの変更点

変更後の機能(KEIRO=YES)を使用する場合、業務インターフェースの変更が発生する。

- a) 仕向けルーティング開始(CUPSR0TD)の復帰コードに『6』が追加となる。復帰コードが6の場合には、取消を中止する判定を追加する必要がある。復帰コード6は、経路フリー(取消再指令ルーティング時に該当経路が開放されている状態であることを示す。
- b) 異常報告電文受信時(仕向送信結果コード=Z00)に、エラーコードを判定してリトライ処理を行う。
- エラーコードC12, 15, 33, 60の場合再度取消処理を行う。これを行わない場合には、経路は開放されない。(注1)
 - 上記以外エラーコードの場合には、取消処理を中止する。
- c) エラーコードC12, 15, 33, 60以外の電文を受信した場合、経路は開放されるが電文管理キーは仕掛中になっている。再度同一電文管理キーを使用する場合には、仕掛解除処理を行う必要がある。

(注1) エラーコードがC33の場合には一定時間後にリトライする必要がある。

5.2 V01L02からの移行

5.2.1 機能の選択

- a) G-CATのG方式暗号化方式については、『自社対応型』・『CAFIS対応型』にするかの選択が可能となっている。

C-COUPLER環境定義体中の、CAFIS回線定義内NETGENコマンドのGCATパラメタで、YESを指定すれば『自社対応型』，NOを指定すれば『CAFIS対応型』となる。

(注) 『自社対応型』の場合はマスタキーをCAT事務局より入手し，設定する。

5.2.2 業務インターフェースの変更点

G-CATのG方式暗号化方式で『自社対応型』(GCAT=YES)を使用する場合は業務インタフェースの変更が発生する。

- a) 電文復号時の認証子チェックでエラーが発生した場合に，被仕向受信結果コードに『B01』が設定されて業務に通知される。

(注) 被仕向受信結果コードは，仕向時に使用されるC-COUPLER使用域の仕向送信結果コードの項目を使用している。

5.3 V01からのインストール方法

(1) インストール対象メンバ

No.	ライブラリ名	対象メンバ名	インストール方法	備考
1	CUPLOAD1	全メンバ	ライブラリ入替	
2	CUPMAC1	全メンバ	ライブラリ入替	
3	CUPSET1	CUPCEDEF	使用中のCUPCEDEFを修正し環境ファイルを再創成	(注1)
		CUPEUT11	修正後ADLを新規登録する	(注2)
4	CUPJCL1	CUPJKEIR	修正し、新規登録する	(注2)
		CAFJDGEN	使用中のCAFJDGENを修正しCAFIS電文データファイルを再作成する	
5	CUPSIM1	CAFUTY01	メンバ入替	
		CAFTJ01~	メンバ新規登録	
		CAFTJ21X	必要に応じて項目を設定する	

(注1) V01L02から移行する場合は一部インストール済になっている。

(注2) V01L02から移行する場合はインストール済のため、対象外になる。

(2) CUPCEDEFのインストール

CUPSET1のCUPCEDEF (原本) より、使用中のCUPCEDEFを修正する。

① システム環境定義

業務での取消完了監視タイマを追加する。

```

*****
* C-COUPLER システム カンキョウ テイギ *
*****
      SYSGEN  OSTYPE=F4,          * OS      クン          -
      CIC=YES,                   * CIC     ショウ        -
      LOGBLKN=20,                 * リレキ  ジョウホウ   ファイル ブロック スウ  -
      HDKBLKN=7,                  * ヒシムケ デンブン   ファイル ブロック スウ  -
      SDKBLKN=10,                 * シムケ   カンリ       ファイル ブロック スウ  -
      SKKBLKN=7,                  * ケイロ   デンブン   ファイル ブロック スウ  -
      C1CBLKN=858,                * C1C     デンブン   ファイル ブロック スウ  -
      WATCH=YES,                  * ウンヨウ カンシ     ショウ        -
      LOGSTCT=(0,0,0,1,1),        * ログキョク ヨクシ     -
      CNTTM=0003,                  * トリケシ カクニン   カンシ   タイマ  -
      MSGGEN=APLMSG                 * キョウム メッセージ テイギタイ メイ
*

```

業務での取消完了監視タイマの変更

監視タイマを変更する場合は、4桁の数字でタイマ値を指定する。(単位は秒)

② プログラム環境定義 運用管理 (V01L01のみ対象)

```

*****
* プログラム カンキョウ テイギ (ウンヨウ カンリ ジョブ) *
*****
      JOBGEN  TYPE=MANAGER
      PROGRAM PGMNAME=CUPPK03, MQNNAME=CUPQK03M, LDNAME=CUPLK03V
      PROGRAM PGMNAME=CUPPK04, MQNNAME=CUPQK04M, LDNAME=CUPLK04V
      PROGRAM PGMNAME=CUPPK05, MQNNAME=CUPCMD, LDNAME=CUPLK05V
      PROGRAM PGMNAME=CUPPK06, MQNNAME=CUPQK06M, LDNAME=CUPLK06V
      PROGRAM PGMNAME=CUPPK02, MQNNAME=CUPQK02M, LDNAME=CUPLK02V
      JOBEND
      END

```

⇐入替

③ プログラム環境定義 CAFIS制御 (V01L01のみ対象)

```

*****
* プログラム カンキョウ テイギ (CAFIS セイギョ ジョブ) *
*****
      JOBGEN  TYPE=CAFISCT
      PROGRAM PGMNAME=CUPPP03, MQNNAME=CUPQP03M, LDNAME=CUPLP03V, -
      ATEND=LD
      PROGRAM PGMNAME=CUPPP04, MQNNAME=CUPQP04M, LDNAME=CUPLP04V, -
      ATEND=LD
      PROGRAM PGMNAME=CUPPP05, MQNNAME=CUPQP05M, LDNAME=CUPLP05V, -
      ATEND=LD
      PROGRAM PGMNAME=CUPPP02, MQNNAME=CUPQP02M, LDNAME=CUPLP02V, -
      ATEND=LD
      JOBEND
      END

```

⇐入替

④ 回線環境定義 CAFIS

取消(再)指令に対する異常報告受信時の経路フリー処理及びG方式暗号化処理を設定する。

```
*****
* カイセン カンキョウ テイギ (CAFIS) *
*****
NETGEN PRONAME=(CUPTPSQ2,CUPTPSQ3,CUPTPSQ4) *プロシジャ メイ -
USERLEN=300, *キョウム モチマワリ ジョウホウ ノ ナガサ -
TSTCLTM=030, *ジシャ サイカイシ カンシ タイマ チ -
RESPTM=0058, *イッパン デンブン カンシ タイマ チ -
REINTM=0150, *サイニユウリョク デンブン カンシ タイマ チ -
CLOSETM=0750, *ジシャ シュウリョウ カンシ タイマ チ -
KEIRO=NO, *トリケシ (サイ) シレイ ケイロ フリー -
GCAT=NO, *G-CAT G ホウシキ センタク -
MKEY=D4D2C5E8, *G-CAT G ホウシキ マスタ キー -
COMPYCD=D1C9E2E8C1F0F1 *ジシャ コード -
*
```

(a) 経路フリー指定の設定 (V01L01のみ対象)

KEIRO=NO又はYES を設定する。

NO …… 取消(再)指令に対する異常報告受信時に経路を開放しない
(V01L01と同一仕様)

YES …… 取消(再)指令に対する異常報告受信時に経路を開放する

(注) KEIRO=YESを指定した場合、業務インタフェースの変更が必要になる。

- ・ 仕向ルーティング開始(CUPSROTD)の復帰コードの追加
- ・ 取消(再)指令に対する異常報告受信時のエラーコード判定等

(b) G方式暗号化処理の設定

GCAT=YES又はNO を設定する。

YES …… 『自社対応型』でC-COUPLERがG方式暗号化処理を行う

『自社対応型』の時はマスタキーを入手し、MKEYに設定する

NO …… 『CAFIS対応型』でCAFISがG方式暗号化処理を行う

CAFISとのオプション契約が必要になる

(注) GCAT=YESを指定した場合、業務インタフェースの変更が必要になる。

- ・ 被仕向電文受信結果コードの判定処理の追加(『B01』:認証子エラー)

⑤ メッセージ定義体 C-COUPLER

```

*****
*   メッセージ テイギ   (C-COUPLER)   *
*****
MSGGEN  MSGID=CUP,COLOR=NORMAL
MESSAGE MCODE=0001,
        INSIF1=(X,26,2,3),
        INSIF2=(B,35,2,4),
        MTYPE=S,
        MTEXT='ジョブ イジョウ シュウリョウ
              (システム=SSS ユーザ=UUUU)'

MESSAGE MCODE=0002,
        INSIF1=(C,19,8,8),
        INSIF2=(X,34,2,3),
        .
        .
MESSAGE MCODE=F501,
        INSIF1=(C,42,08,08),
        MTYPE=E,
        MTEXT='カイトウ シュツリョク タンマツ ノ
              セイギョケン カクトク シツパイ WS=XXXXXXXXXX'

MSGEND
END
*****
*   メッセージ テイギ   (ギョウム)   *
*****
APLMSG  MSGGEN  MSGID=APL,TYPE=USER,COLOR=NORMAL

```

⇐入替

⑥ C-COUPLER環境ファイルの再創成

C-COUPLER環境設定ジョブ(CUPJESSET)及びC-COUPLERファイル創成ジョブ(CUPJINIT)を実行して再創成する。

(注) 当処理は、ロードモジュール(CUPLoad1)及びマクロ(CUPMAC1)インストール完了後に実行する。

(3) CUPEUT11のインストール (V01L01のみ対象)

PEDの新規登録を行う。

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7--
*****
*
*      P E D   CUPEUT11
*      :   ケイロ ジョウタイ ヒョウジ   (CUPUTY11) ジョブ
*
*****
* PED エントリ FOR ケイロジョウタイ ヒョウジ (CUPUTY11) ジョブ *
*****
      PED      NAME      IS      CUPEUT11 ;
      DATE-WRITTEN      91/10/01 ;
*****
* AP エントリ FORケイロジョウタイ ヒョウジ (CUPUTY11) ジョブ *
*****
      AP      NAME      IS      CUPUTY11 ;
      LOG BUFFER SIZE IS      NOT USED ;
      BOF BUFFER      IS      NOT USED ;
*
      DATASET NAME      IS      CUPDPATH FOR CUPDPATH ;
      ACCESS  MODE      IS      READ-ONLY
*****
      END.

```

(4) CUPJKEIRのインストール (V01L01のみ対象)

JCLの修正を行い登録する。

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7--
//CUPJKEIR      PROC
//*****
//*
//*      C-COUPLER   オンラインムケケイロジョウタイヒョウジヨウプロシジャ*
//*
//*      プロシジャ   メイ   ———   CUPJKEIR
//*
//*      パラメタ     ———   ナシ
//*
//*****
//* ステップ1 ----- ケイロ ジョウタイ ヒョウジ   (CUPUTY11)
//*****
//UTY11      EXEC PGM=CUPUTY11,REGION=128K
//STEPLIB   DD DSN=RY2320.CUP.LMD,DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.COBLIB,DISP=SHR
//AIMPED    DD SUBSYS=(AIM,CUPEUT11,APG00001)
//SYSOUT    DD SYSOUT=A

```

(5) CAFJDGENのインストール

CUPJCL1のCAFJDGEN(原本)より、使用中のCAFJDGENを修正する。変更があった箇所を_で示す。

```
-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7--
//CAFJDGEN      PROC
//*****
//*
//*  C-COUPLER   コウケン データ サクセイ ヨウ プロシジャ      *
//*
//*              プロシジャ メイ   _____ CAFJDGEN      *
//*
//*              パラメタ           _____ ナシ          *
//*
//*****
//* ステップ1  ----- コンパイル                               (JMNC0000) *
//*****
//COBOL      EXEC PGM=JMNC0000,REGION=1024K,
//          .
//          .
//*****
//* ステップ3  ----- コウケン データ サクセイ   (CAFUTY01)      *
//*
//*  CAFUTY01   ノ  パラメタ                                     *
//*  J ----- ジンシャ   コード          (16 シン 14 ケタ)      *
//*  T ----- タシヤ     コード          (16 シン 14 ケタ)      *
//*  C ----- クレジット カイシャ   コード (16 シン 14 ケタ)      *
//*  P ----- GPID NEW                                     (16 シン 16 ケタ)      *
//*  G ----- G ホウシキ   (YES/NO)                                     *
//*  M ----- マスタ キー   (16 シン 8 ケタ)                         *
//*****
//UTY01      EXEC PGM=CAFUTY01,REGION=256K,COND=(8,LE),
//          PARM=('J=D1C9E2E8C1F0F1,T=E3C1E2E8C1F0F1,C=88BA8DBE9395F1',-
//          'P=F1F2F3F4F1F2F3F4,G=NO,M=D4D2C5E8')
//STEPLIB    DD DSN=RY2320.CUP.LMD,DISP=SHR
//          DD DSN=SYS1.COBLIB,DISP=SHR
//CAFDTST    DD DSN=RY2320.CAFIS.DATA,DISP=OLD
```

(6) CUPSIM1のインストール

① CAFUTY01

メンバの入替を行う。

② CAFTJ01~CAFTJ21X

メンバの新規登録を行う。登録後、必要に応じて電文データコピーの変更を行う。

③ CAFIS電文データファイルの再作成

CAFIS電文データファイルの割当て量を150ブロックに変更し、CAFIS接続試験データ作成ジョブ(CAFJDGEN)を実行して再作成する。

(注) 当処理は、(5)及びロードモジュール(CUPLoad1)のインストール完了後に実行する。

5.4 V02L01からのインストール方法

(1) インストール対象メンバ

No.	ライブラリ名	対象メンバ名	インストール方法	備考
1	CUPLOAD1	全メンバ	ライブラリ入替	
2	CUPSET1	CUPCEDEF	使用中のCUPCEDEFを修正し環境ファイルを再創成	

(2) CUPCEDEFのインストール

CUPSET1のCUPCEDEF (原本) より、使用中のCUPCEDEFを修正する。

① メッセージ定義体 C-COUPLER

```

*****
*   メッセージ テイギ   (C-COUPLER)   *
*****
MSGGEN  MSGID=CUP, COLOR=NORMAL
MESSAGE MCODE=0001,
        INSIF1=(X,26,2,3),
        INSIF2=(B,35,2,4),
        MTYPE=S
        MTEXT=' ショブ イジョウ シュウリョウ ユーザ=UUUU)'
        (システム=SSS
MESSAGE MCODE=0002,
        INSIF1=(C,19,8,8),
        INSIF2=(X,34,2,3),
        .
        .
        .
MESSAGE MCODE=F501,
        INSIF1=(C,42,08,08),
        MTYPE=E
        MTEXT=' カイトウ シュツリョク タンマツ ノ
        セイギョケン カクトク シツパイ WS=WWWWWWW'
MSGEND
END
*****
*   メッセージ テイギ   (ギョウム)   *
*****
APLMSG  MSGGEN  MSGID=APL, TYPE=USER, COLOR=NORMAL

```

←入替

② C-COUPLER環境ファイルの再創成

C-COUPLER環境設定ジョブ(CUPJESSET)及びC-COUPLERファイル創成ジョブ(CUPJINIT)を実行して再創成する。

(注) 当処理は、ロードモジュール(CUPLOAD1)及びマクロ(CUPMAC1)インストール完了後に実行する。

6. 運用上の留意点

このソフトウェアを24時間運転させるための注意事項を表6.1に記す。

表6.1 運用上の留意点

項番	注意事項	理由
1	運用前にCOLDスタートさせる。 (注2)	① 仕向経路の経路初期化処理を行うため。(注1) ② 電文管理ファイルの仕掛状態での再使用を行うため。

(注1) 取消確認(再)指令に対する異常報告受信時は、C-COUPLERが経路開放までリトライする仕様になっているが、取消(再)指令に対する異常報告受信時のリトライは業務プログラムで任意のため、連続して何日もリスタートなしで運用すると、全経路が経路ビジーになる場合がある。

(注2) 一日の運用中にも経路ビジーが多発する場合は、経路状態表示(CUPUTY11)により、使用状態を確認し、必要ならばCOLDスタートすることが望ましい。

7. ソフトウェア組合せ条件

このソフトウェアを使用するときに必要な関連ソフトウェアを表7.1に示す。

表7.1 ソフトウェア組合せ条件

必要ソフトウェア名	適用V/L	必要条件		備考
		必須	任意	
AF II	V10以降			
AIM/CP	V10以降			
VTAM-G	V10以降			
NCP-G Bオプション	V10以降			
COBOL85	V11以降			

8. 提供媒体形式と内容

このソフトウェアで提供される磁気テープの内容は、表8.1から表8.2に示す通りである。

表8.1 提供媒体形式

種 別	記録密度 (BPI)	ラベル形式	ボリューム 通し番号	データセット数	サイズ	巻 数
DLB01	1600	SL	CUP001	6	QUARTER	1

(注) 作成手段……JSECOPIYを使用

表8.2 提供媒体内容

格納順番	ファイル名	ファイル 編成	レコ ド形 式	レコ ド長 バイト	ブロッ ク長 バイト	メン バ数	内 容
1	CUPLOAD1	PO	U	—	6144	108	C-COUPLER のロードモジュール ライブラリファイルである
2	CUPMAC1	PO	FB	80	3120	93	C-COUPLER 環境定義用マクロライブラリ ファイルである
3	CUPJCL1	PO	FB	80	3120	14	C-COUPLER 運用時使用するジョブ制御 文のライブラリファイルである
4	CUPSET1	PO	FB	80	3120	42	AIM 環境定義体及びC-COUPLER 環境定義 体のライブラリファイルである
5	CUPPRC1	PO	FB	80	3120	4	AIM デッドロック出口、SYSNAD出口等の 手続定義体のライブラリファイルである
6	CUPSIM1	PO	FB	80	3120	96	公検シミュレート機能試験用の電文デ ータ定義体のライブラリファイルである

9. DASD所要量

このソフトウェアのインストールを完了したときのDASD所要量の見積もりを表9.1に示す。

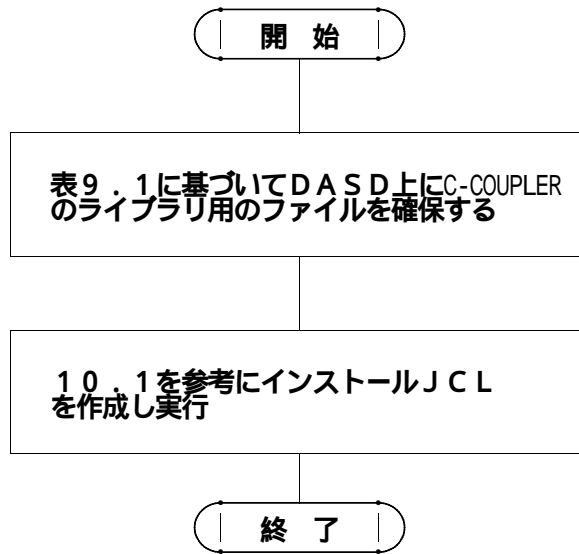
表9.1 DASDタイプ別スペース容量

項 番	DASDタイプ ファイル名	F 467 F 494 F 6411 F 6417	F 478 F 479	F 493 F 496	F 6421	F 6425	
1	CUPLOAD1	624 (30)	312 (30)	209 (30)	156 (30)	90 (30)	
2	CUPMAC1	208 (20)	104 (20)	70 (20)	52 (20)	30 (20)	
3	CUPJCL1	22 (4)	11 (4)	9 (4)	7 (4)	4 (4)	
4	CUPSET1	44 (8)	22 (8)	18 (8)	14 (8)	8 (8)	
5	CUPPRC1	15 (1)	8 (1)	6 (1)	5 (1)	2 (1)	
6	CUPSIM1	208 (20)	104 (20)	70 (20)	52 (20)	30 (20)	

単位：トラック なお、()内の値はディレクトリブロック数を示す。

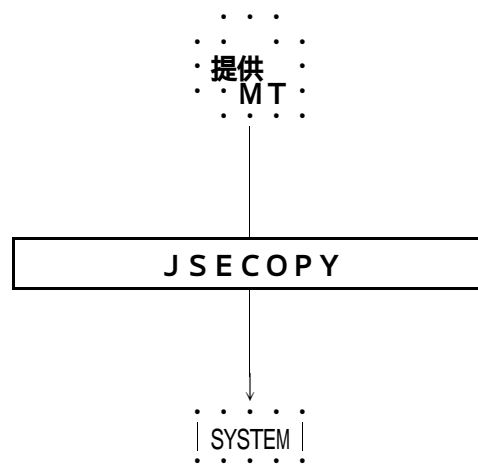
10. インストレーションの手引

このソフトウェアをインストールするための手順を説明する。



10.1 C-COUPLERライブラリの登録

OSIV/MSP システムにC-COUPLER基本部を組み込む方法について述べる。



10.2 ジョブ制御文の作成例

```

//M10600B1 JOB          ,MSGCLASS=Q,CLASS=H,NOTIFY=M10600
//*          *****
//*          *   M S P   C-COUPLER   インストール   ジョブ   *
//*          *   CUP001   AIM V20   *
//*          *****
//STEP01 EXEC          PGM=JSECOPY,REGION=1024K
//SYSPRINT DD          SYSOUT=*
//IN1       DD          DSN=CUPLOAD1,UNIT=MT,LABEL=(1,SL),
//          VOL=SEL=CUP001,DISP=(OLD,PASS)
//IN2       DD          DSN=CUPMAC1,UNIT=MT,LABEL=(2,SL),
//          VOL=SEL=CUP001,DISP=(OLD,PASS)
//IN3       DD          DSN=CUPJCL1,UNIT=MT,LABEL=(3,SL),
//          VOL=SEL=CUP001,DISP=(OLD,PASS)
//IN4       DD          DSN=CUPSET1,UNIT=MT,LABEL=(4,SL),
//          VOL=SEL=CUP001,DISP=(OLD,PASS)
//IN5       DD          DSN=CUPPRC1,UNIT=MT,LABEL=(5,SL),
//          VOL=SEL=CUP001,DISP=(OLD,PASS)
//IN6       DD          DSN=CUPSIM1,UNIT=MT,LABEL=(6,SL),
//          VOL=SEL=CUP001,DISP=(OLD,PASS)
//OUT1      DD          DSN=M106.CUP.LOAD1,DISP=SHR
//OUT2      DD          DSN=M106.CUP.MAC1,DISP=SHR
//OUT3      DD          DSN=M106.CUP.JCL1,DISP=SHR
//OUT4      DD          DSN=M106.CUP.SET1,DISP=SHR
//OUT5      DD          DSN=M106.CUP.PRC1,DISP=SHR
//OUT6      DD          DSN=M106.CUP.SIM1,DISP=SHR
//SYSIN     DD          *
              COPY      INDD=IN1,OUT=OUT1
              COPY      INDD=IN2,OUT=OUT2
              COPY      INDD=IN3,OUT=OUT3
              COPY      INDD=IN4,OUT=OUT4
              COPY      INDD=IN5,OUT=OUT5
              COPY      INDD=IN6,OUT=OUT6
//
//

```